

第11章 学位論文のさがし方



学位論文とは、学位を得るために提出する論文で、以前は一般の出版流通経路にのらない資料であり、入手が困難な「灰色文献」とされてきましたが、近年はデジタル化され公開されるケースも増えてきています。

修士論文については、学位授与大学ごとに保存の方針が分かれています。一部インターネットで公開されているものもありますが、ほとんどは学位授与大学内の保管資料として非公表の場合が多く、著者の許諾なしには複写もできません。

ここでは、博士論文の探し方を中心に説明します。

11-1 中央大学の学位論文（文系研究科の博士論文・修士論文）

文系研究科の博士論文・修士論文は、**大学院図書室**で保管しています（一部の古い修士論文は中央図書館で保管）。論文の所蔵の検索や書誌等については、以下をご参照ください。なお、博士論文の概要を知りたい場合は、要旨集を利用することができます。

11-1-1 博士論文

【保管対象】

旧制度（昭和39（1964）年度）以降（冊子体）

【所蔵・書誌等の確認】

- ① 大学院図書室備付『博士論文題目リスト』
- ② **国立国会図書館オンライン NDL ONLINE Free**
<<https://ndlonline.ndl.go.jp/>>
「詳細検索」をクリックし、「その他」のプルダウンメニューより「博士論文」を選び、「授与大学」に中央大学を入れて検索します。
- ③ **CiNii Dissertations Free**
<<http://ci.nii.ac.jp/d/>>
- ④ 『大学院研究年報』（研究科別に年度単位で発行）
博士論文の題目一覧が掲載されています。
〔雑誌、中央〕
- ⑤ 『博士学位論文：審査報告』（内容の要旨及び審査結果の要旨）（研究科別に年度単位で発行）
〔M377.5/C66 中央〕1984-
当該年度の博士論文の題目と内容の要旨等が掲載されています。
- ⑥ **中央大学学術リポジトリ (CHAIR:CHuo university Academic Information Repository) Free**
<<http://ir.c.chuo-u.ac.jp/repository/>>
「文献種別一覧」より「学位論文」を選択すると2013年度以降の博士論文や修士論文の書

誌等を確認できます。一部の論文は全文を公開している場合もあります。

【複写】

著作権の範囲内で可能です。（費用は利用者負担）

11-1-2 修士論文

【保管対象】

- ① 冊子体（2006年度まで、一部欠あり）
- ② PDF版（2007年度以降、閲覧用PCあり）
- ③ マイクロフィルム版（2006年度まで、冊子体が利用できない場合に限る。中央書庫で保管）

【所蔵・書誌等の確認】

- ① 大学院図書室備付『修士論文題目リスト』
- ② 『大学院研究年報』（研究科別に年度単位で発行）
修士論文の題目一覧が掲載されています。

【複写・転記】複写及び本文の転記等はできません。

※図書として出版された博士論文の一部は、図書館に所蔵されている場合があります。CHOISでタイトル、著者名を入力して所蔵を確認してください。なお、図書館に所蔵のない博士論文はCHOISでは検索できません。

11-2 国内の博士学位論文

国内の博士論文は、学位授与大学と国立国会図書館で保管されています。なお、2013年4月以降の博士論文は、学位規則改正により、原則としてインターネットで公表されることになりました。

【インターネットで探す】

① CiNii Dissertations **Free**

<<http://ci.nii.ac.jp/d/>>

国内の大学等学術機関のリポジトリ、ならびに国立国会図書館が所蔵する博士論文を検索できます。インターネット上で閲覧できる論文については本文へのリンクが用意されています。

② 国立国会図書館デジタルコレクション **Free**

<<http://dl.ndl.go.jp/>>

対象年代：1991-2000（15万点）、2013-1991-2000年の一部（約1万5千点）と、2013年4月以降の博士論文は原則インターネットで公表され、閲覧できます。

1991-2000年のうち約13万点と、2013年以降でもやむを得ない事由により公表されない博士論文の一部は「図書館向けデジタル化資料送信サービス」により中央図書館内で閲覧できます。レファレンスカウンターでお申込みください。

国立国会図書館リサーチ・ナビ（博士論文の調べ方） **Free**

国立国会図書館リサーチ・ナビには、国内・海外の博士論文の調べ方が掲載されています。海外博士論文の調べ方では、北米、ヨーロッパ以外に、アジア、中東、アフリカなどの論文のさがし方も掲載されています。

・国内博士論文

<https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-100044.php>

・海外博士論文（総論）

<https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-400041.php>

【冊子体（印刷物）を利用する】

1. 国立国会図書館で利用する

国立国会図書館では、大正12年（1923）年9月以降の国内博士論文（57万人以上）を所蔵しています。

国立国会図書館デジタルコレクション（②参照）に収録されていない冊子体の博士論文は、関西館で所蔵しています。「国立国会図書館NDL ONLINE」で検索の上、東京本館に取り寄せて利用できます。

※国立国会図書館への利用者登録が必要です。

③ 国立国会図書館NDL ONLINE **Free**

<<http://ndlonline.ndl.go.jp/>>

「詳細検索」をクリックし、「その他」のプルダウンメニューより「博士論文」を選んでから検索してください。

2. 学位授与大学で利用する

①で学位論文の「著者名」、「論題」、「学位授与大学」、「授与年」を確認してください。その上で、所蔵機関へ直接訪問して閲覧するか、著作権の範囲内で複写を依頼できます。

レファレンスカウンターにご相談ください。

※14章（p.54）参照

【その他の情報源】

④ 各大学発行の学位授与論文要旨集

各大学では、提出された博士論文の内容要旨と審査結果の要旨を収録した要旨集を発行しています。要旨集は発行元の大学図書館や国立国会図書館で所蔵しています。

⑤ 大日本博士録 発展社 1921-1930

〔M281.03/D25 中央〕

学位授与開始の明治21(1888)年から昭和4年(1929)年までに学位を授与された博士について、授与大学、授与日、学位、学歴及び経歴等が記載されています。学位の種類ごとに収録年が異なります。国立国会図書館デジタルコレクション（②参照）でインターネット公開されています。

11-3 海外の博士学位論文

2000年前後からインターネットで全文閲覧が可能な電子学位論文の公開が増えてきています。博士論文の書誌には、学位論文を表す「Thesis（複数形 Theses）」「Dissertation（短縮形：Diss）」、博士の学位を表す「Ph.D.」「Doctoral」などの表記が見られます。

【所蔵の検索】

海外の学位論文は図書として所蔵している場合があります。他機関の所蔵を利用する前に、CHOISで所蔵を確認してください。

- ① **国立国会図書館オンライン NDL ONLINE** **Free**
<<https://ndlonline.ndl.go.jp/>>

国立国会図書館では、1950年代以降の科学技術分野の欧米博士論文（関西館所蔵）、ならびに人文・社会科学分野のうち、日本に関する論文（東京本館所蔵）を収集しています。

- ② **CiNii Books 大学図書館の本をさがす** **Free**
<<http://ci.nii.ac.jp/books/>>

全国の大学図書館等の蔵書を検索できます。「詳細検索」画面の「注記」に授与大学名、ThesisまたはDissなどを入れて検索してください。

- ③ **WorldCat Discovery** **V**

アメリカのOCLC制作による北米を中心に世界各国の図書・雑誌などが検索できる総合目録データベースです。検索結果表示後、[すべてのフォーマット]から[学位論文/学術論文]を検索すると絞り込むことができます。なお、フリーアクセス版(<http://www.worldcat.org/>)もあります。

[Advanced Search]画面の[Content]を[Thesis/dissertation]に指定して検索することができます。

【各国】

- ④ **ProQuest Dissertations & Theses Global** **V** **学認**
[北米]

北米を中心とした世界各国の修士・博士学位論文の書誌情報と1997年以降のほとんどの全文を収録しています。

- ⑤ **NDLTD (Networked Digital Library of Theses and Dissertations)** **Free** [北米ほか]
<<http://www.ndltd.org/>>

北米を中心に世界の200以上の機関が参加している電子学位論文のサイトです。[Find ETDs]内の[Global ETD Search]で論文の検索ができ、全文にリンクしているものも多数あります。

- ⑥ **DART-Europe E-theses Portal** **Free**
<<http://www.dart-europe.eu/>> [ヨーロッパ]

ヨーロッパの28カ国600以上の大学の電子学位論文を検索・ダウンロードできます。

- ⑦ **EThOS (e-theses online service)** **Free**
<<http://ethos.bl.uk/>> [イギリス]

イギリス国内の学位論文が検索できる英国図書館の電子学位論文提供サービスです。ユーザ登録をすると、フルテキストのダウンロード、オンデマンドの電子化注文（一部有料）ができるようになっています。また、大学の機関リポジトリ内の論文全文へのリンクも含まれています。

- ⑧ **Sudoc (Système Universitaire de Documentation)** **Free** [フランス]
<<http://www.sudoc.abes.fr/>>

フランスの大学、研究図書館の総合目録です。詳細検索[Recherche avancée (Advanced)]画面で[Thèses (dissertations)]に限定して検索することができます。

- ⑨ **ANRT (Atelier National de Reproduction des Thèses)** **Free** [フランス]
<<http://www.diffusiontheses.fr/>>

フランス博士論文の複製供給機関です。ANRTに問い合わせて購入するか、学位論文センター（雄松堂書店）<<https://myrp.maruzen.co.jp/ydsc/>>を通じて購入することができます。

- ⑩ **Deutsche Nationalbibliothek** **Free**
<<http://www.dnb.de/>> [ドイツ]

ドイツ国立図書館のwebサイトです。検索結果から論文の全文を閲覧できる場合があります。